



ぶるーむ.com

じぶん せいかつたの
～ 自分の生活楽しんでますか？ ～

こうれい はなみ
恒例の花見ですね！！



CONTENTS

P2. 横向きナオの前向きデイズ

P5. Oh-Life!!

P7. 意のまま気ままなひとり言

P8. いただき松木栄二第5回

P9. 活動報告

◆「ぶるーむ」の由来◆

英語のbloomをひらがな表記したものです。
bloomには、「(花が)咲く」「(才能・事業などが)花開く」などの意味があります。この北九州の地で、自立生活の土壌をあらためておこすことから始め、それぞれの自立生活の種を植え、色とりどりの自立生活の花が咲きほこるという願いをこめました。

よこむ まえむ
横向きナオの前向きデイズ ～第1回 つれづれ～

どうも。なにかとやたらと失敗する女、ナオです。最近の失敗は、と言っても数えきれないんですが、ドン引かれたのは冷水に袋麺を投入してラーメンを作った事です。鍋の中にプカーッと浮いてくる、かやくと粉末スープの袋のシュールさ。そして出来上がった麺を人に食べさせるという暴挙。「すごい顔してた」らしい代表の顔が見られなかったのが残念です。袋ラーメンはお湯が煮たってから鍋に入れる！私 覚えた！

さて長い前置きになりましたが、ありがたい事にまた原稿依頼を頂いたので今回からタイトルを付けさせてもらいました。実はこれ、私の卒論のサブタイトルの一部です。横向きナオは文字通り、いつもストレッチャーに乗っている私の事。本当は前向きコミュニケーションと続くのですがデイズとしました。横を向いている私の前とは果たしてどっちだ！お前はどっちに進んでるんだ！？そんな感じで続けたいと思います。

今日は、私が家からぶる一むに着くまでの事を書きます。まず抱き抱えられストレッチャーに乗るところから（本当はその前準備から）始まります。冬はとにかく寒い。二枚の毛布に包まり、呼吸器をつけて出かれます。私は左を下にして寝ているので反対側が見えるように鏡をつけています。これに写る自分の顔が年取ったなあと忌々しく思いながら急いでミラーの向きを変えて、「前に進んで下さい」。前と言っても私からしたら自分の足の方向に進むのですが……。 「何か目の前に障害物や普段と違うものがあったら教えて」と指示を出してるのですが、介助者と私の視線は目の前の猫に……。

うちの周りは野良猫が多く、勝手に車庫に入ってきて私の車椅子の上で寝たり、ストレッチャーの上で寝た痕跡（毛）があります。それはほのぼのエピソードなんですけど私のベッドの上で尿をするのは何故だ。……そういう意味では障害物ですね。

思いつきり身体は左に向いておきながら「右に曲がって下さい」の指示。背中側は鏡でしか見えてないけどこちら辺はもう覚えた道なのでいつも通りに。そして長い坂を下って大きな道路まで出るわけですが、何故かよく人に話しかけられる。「こんにちはー！今日は寒いね」「こんにちはー！寒いですね（誰だろう？）」

……本当、誰なのでしょうね？ご近所さんなのか、ただ障害者に親切にしたい人なのか……。分からないのでとりあえず笑顔で返事をします。そして何故か中・高年の方が多いです。一度、車の中から手を振られたらしいのですが、全く私は分からず……。これは多分知り合いですよね。ごめんね。

そして、コンビニの側を^{そば}通^{とお}ってモノレールの^{えき}駅へ。昼飯^{ひるめし}を買^かってない日はコンビニで^か買^かいますが、
コンビニって何^{なに}であんなにテンションが上がるのか？ そして新^{あたら}しいものに手^てを出^だしたいと思^{おも}いつつ、
大体^{だいたい}買^かうものは同^{おな}じです。レジ^{レジ}で手間^{てま}取り他^{ほか}のお客^{きやく}さんを待^{まち}たせるのが嫌^{いや}なので、いつもレジの前^{まえ}
は緊張^{きんちよう}します。そして気^きになるのが煙草^{たばこ}の存在^{そんざい}。人生^{じんせい}一度^{いちど}は吸^すってみたいなあと思うけど体^{おち}に悪^{わる}いし
中々^{なかなか}手^てが出^でません。

そして、モノレール^{えき}駅のエレベーターに^の乗^{のり}ますが、たまに親切^{しんせつ}な人^{ひと}がボタ^おンを押^おしてくれ、去^さ
てい^かれます。彼^{かれ}らは「野生^{やせい}の神^{かみ}」ではないでしょうか？ ありがた^や。

そして券売^{けんばい}機^きの前^{まえ}で、割引^{わりびき}ボタ^おンを押^おすと……？ しばらくするとバンッと音^{おと}がして、券売^{けんばい}機^きの真横^{まよこ}
の壁^{かべ}だと思^{おも}っていた小窓^{こまど}が開^{ひら}き、駅員^{えきいん}さん^{はとどけい}が鳩^{かお}時計^でのごとく顔^{さいしょ}を出^だします。最初^{さいしょ}はこれにビクツとし
ていま^{いま}ではもう駅員^{えきいん}さん^{かお}に顔^{おほ}を覚^{へい}えられ、「平和^{へいわ}通り^とまででし^きたっけ？」とか聞^きかれます。そ
して改札^{かいさつ}を通^{とお}り、エレベーターでホー^きムへ。タイミン^きグよくモノレールが来^きてたらラッキ^{くる}ー！ 車椅子^{くるまいす}
乗^{じようこうち}降^の口^こからモノに^{じようしゃ}乗^まります。一度^{きけん}駆^{せつ}け込^{たい}み乗^ま車^まを^しました^が危^き険^{けん}な^{ので}絶^{ぜつ}対^{たい}やめ^まし^よう。

そして、向^むかいに優^{ゆう}先^{せん}席^{せき}が^{くるまいす}ある^い車椅子^{ゆうせんせき}ス^{いろ}ペース^{ひと}に行^いきます。この優^{ゆう}先^{せん}席^{せき}とい^{いろ}うのが色^{いろ}んな人^{ひと}が^{おもしろ}いて
面^{おも}白^{しろ}い。

～モノレールとい^でう出^あ会^わいと別^{わか}れ^ばの場^{しょ}所^{じょ}～

と私^{わたし}は名^な付^づけ^{ました}。大体^{だいたい}座^{すわ}って^るのはご年^{ねん}配^{ぱい}の方^{かた}。そうかと思^{おも}えば疲^{つか}れ果^はて^て寝^ねて^る人^{ひと}。若^{わか}い人^{ひと}
がラ^きイン^{へん}で来^{おとこ}た変^{はなし}な男^{おとこ}の^{かえ}話^わを^{して}たり、帰^{かえ}りの時^{じかん}だ^と小^{しょう}学^{がく}生^{せい}が座^{すわ}って^{たり}。ラ^せン^おセ^おル^せル^お背^せ負^おって
学^{がっこう}校^がから帰^{かえ}っ^てい^る子^こ供^{ども}達^{たち}を^みると偉^{えら}いな^ーと思^{おも}います。色^{いろ}んな人^{ひと}が^いる^{ので}つ^い観^{かん}察^{さつ}し^てる^{けど}、
大^だ抵^{たい}相^{あい}手^ても^こっ^ちを^みて^るの^でど^っこ^いど^っこ^いです。

面白^{おもしろ}かったエ^エピ^ピソ^ソード^をい^いく^くつ^か。

「アイ^{かん}ス^{こく}ノ^{じん}ンを^しき^あっ^かけ^に韓^{かん}国^{こく}人^{じん}マ^マと^し知^あり^あ合^あう」

私^{わたし}が夏^{なつ}にアイ^{かん}ス^{こく}ノ^{じん}ンを脇^{わき}に抱^{かか}え^{ながら}モノに^の乗^{のり}て^{いる}と、「これ^{かん}韓^{こく}国^{せい}製^{せい}です^ね。韓^{かん}国^{こく}語^ごです[！]ふ
ふっ」と声^{こえ}を^かけ^てく^れた若^{わか}いマ^あマ^つ。赤^{あか}ちゃん^つを^お連^れて^{いた}と思^{おも}います。「あ^あっ、そ^そう^なん^です^か！
私^{わたし}大^だ学^{がく}で韓^{かん}国^{こく}語^ご習^じい^{ました}よ^ー」と私^{わたし}。す^すぐ^の駅^{えき}で^お降^りて^い行^いか^れま^{した}が^こん^なと^ころ^で国^{こく}際^{さい}
交^{こう}流^{りゅう}！

めずら ひとだす
「珍しく人助けをする」

む せき すわ なかみ いっしょうけんめい ふ
向かいの席に座っていたおばあさんが、ペットボトルの中身をこぼされました。一生懸命拭こうと
されているので、ティッシュを渡そうとすると……なんと怪我をしてしゃがめないのが拭けなかった
そうです。なので私わたしが介助者かいじょしゃに指示しじして拭き拭き。おばあさんにはお礼れいを言われ、そして私わたしはモノの
ゆか いがい きたな おも
床ゆかって意外いがいと汚きたないなと思おもいました。

しょうがいしゃ
「障害者スポーツのボランティアをしているおじいさん」

も じ ふう わたし とつぜん じぶん しょうがいしゃ
文字のまんまです。ジェントルマン風のおじいさんが私わたしに突然、自分は障害者スポーツのボランテ
ィアをしていとおし 教えてくれました。なんていいえばいいか分からなかったので、「へー、そうなんです
かー」「なるほどー」と言いってました。相手あいてはシンパシーかんを感じてくれたんでしょうが、こっちにとっ
てはただのジェントルマンおじいさんです。

じぶん まわ しょうがいしゃ かぞく しょうがいしゃ こえ
よく、自分の周りに障害者しょうがいしゃがいるとか、家族かぞくが障害者しょうがいしゃということで声こえをかけられるのですが、それ
がどうしたというか、「意外いがいと障害者しょうがいしゃいるんだなー」くらいかんぞうの感想もしか持もてません。外国がいこくで日本人にほんじん見みつ
けたみたいどうほうかんな同胞感もがあるんですかね？

こんなところでしょうか。ストレッチャーこきゅうきで呼吸器つを付けてるって中々なかなレアな人物じんぶつなので珍めずらしそう
に見みられてるんでしょうが、障害者しょうがいしゃを36年ねんもやっているとちょっとの視線しせんじゃどうも思おもいません。
わたし み べんきょう おも えら
私わたしを見て勉強べんきょうしとけよ、くらいえらに思おもってます（偉えらそう）。

ないよう も じごう つづ
内容ないようが盛りもりだくさんもだったので、次号じごうに続つづきます。

じごう たの
次号じごうもお楽たのしみに！！

Oh-Life

第21回 窮屈さと薄暗さとタバコ臭さと

K II

10連休って・・・流石に長過ぎではないだろうか。どこかに外出すると言っても、基本どこも人が多いし、飲食店なども休日扱いなので日替わりランチなどは無いし、カラオケは休日料金で高いし・・・。結局、家でスマホゲーを片手に溜まっている録画を消化するというところに落ち着いてしまう。まあ、10連休でもいつも通りということを確認して、今回の本題に入ろう。

冬号のあとがきでも少しふれたのだが、少し前に、僕がよく行っていたゲームセンター「カジノ京町」がこの3月で閉店してしまった。僕は、その店を約7年間くらい利用していたので、初めて閉店の張り紙を見た時には本当にショックだった。というわけで、今回はその店について書いてみようと思う。

子供の頃(約20年前)の僕は、ゲームセンターに対して、「薄暗い」「音が大きい」「お金をたかれる」というイメージを強く持っていて、楽しそうではあるが近寄り難い場所だった。だが、僕も大人になり、自分の世界が広がるにつれ、「ゲーセンに行ってみよう」と思うようになった。当初は、自分の行動範囲内で行けそうなお店をいろいろと周っていたのだが、僕の動線的に効率が良いカジノ京町に最終的に落ち着くことになった。

カジノ京町は、薄暗い店内に大量のゲーム機が設置してあり、この詰め込み感の凄い店内が、何とも言えない良い味を出している。ただ、この詰め込みの影響で、店内の通路は非常に窮屈で通りづらい。

僕の遊びたいゲームは入り口の方に設置されていたので、どうにか問題は無かった。だが、設置場所がもう少し悪ければ僕も遊ぶことができなかったかもしれない。あと、カジノ京町は、店内での喫煙が可能だった。僕は、タバコには興味が無いので全く関係無かったのだが、タバコの煙とゲーム機から排出される熱が合わさって、店内の空気はなかなかのものになっていた。だが、この環境の中でも他のお客は、黙々とゲームをしていた印象が強い。なので、傍から見ると、少し独特な雰囲気のお店だった。現に僕も、介助者がいなかったら、7年前にこの店に入ることは無かったかもしれない(笑)

だが、通い続けてこの独特な雰囲気慣れてくると、何とも言えない居心地の良さが生まれてくるのである。今、思い返してみると、忙しかった日も辛いことがあった日も、カジノ京町に行けばとりあえず心を切り替えることができている気がする。あと、コミュニケーション・禁煙・バリアフリーといった今の時代ではよしとされていることに対して、自然体で中指を立てている感じ(主観です)もなかなか素敵だった。

と、いろいろ振り返っているうちに、カジノ京町が閉店してからもう2カ月が経とうとしている。どうにか別のゲーセンを見つけることはできたが、そのゲーセンは、明るくて空気も綺麗なのだが、どうにも心が落ち着かない。僕の心は完全に「ゲームセンター難民」である。今でもあの店の窮屈さと薄暗さとタバコの匂いが、ふと懐かしくなる時がある。

おまけ

先日、ハリウッド版ゴジラの新作を映画館に見に行きました。シンゴジラを見るイメージで行ったのですが、想像以上に昔や演出が激しいのでとても驚きました。内容的には、王道で面白かったのですが、びっくり反射の嵐で疲労感の方が強かったような、別の映画で長澤まさみや橋本環奈を眺めていた方が楽しかったような、今さらモヤモヤする今日この頃です。

意のまま気ままな独り言

ソノ

「きのう何食べた？」というドラマをご覧になりましたか？

西島秀俊演じるシロさんと、内野聖陽演じるケンジが同棲生活をしながら、物語が進むLGBTを題材にしたドラマなんですけど、「食卓」を囲むという何気ない日常が必ずお互いの中心にあって、その日の予定やその日に起こったことを話す二人の自然な姿にすごく見ていて心温かくほっこりします。

ときに誰もが仕事や隣人、友達や家族との間に問題を抱え悩むこともありまよね。その悩みを聞いてもらってスッキリする人もいれば、何か他のスポーツや買い物でスッキリする人、抱え込んで何もできなくなる人、様々だと思います。ここではその方法がどうか以前に、そもそも話しても話さなくてもいい環境ができるのは、こういった安心感があるからではないか。といったことや、何か他のことができるのは信頼の持てる関係が取り組もうとさせてくれるのではないか。といった、誰かを通して自分の存在を確認できることの大切さ、その誰かとの関係がどうあるべきか、どうあろうとするべきかが重要なのかということを見せてくれます。

さらに「食」というわかりやすく不可欠なものが前面に出てきます。この「食」については言うまでもなく人が生きる上で欠かせないものの一つですよ。だから、例えばお互いと言えない悩みを抱えながらどこかよそよそしいときでも「食」が二人を自然に繋ぎ合わせ安心感や信頼関係を都度、感じさせるわけです。そして、「食」という行為にはその過程において割と「時間」を要するものですよ。だから、大切なことを話す時間が必要なときは、おのずと話せる場となり二人を向き合わせるわけです。

それを見て、もしかしたら、人は信頼や繋がりが生きる上で必要だから、「食」という欠かせない機能を持ち合わせるように作られていて、あえて「時間」が掛かるようになっていられるのかもしれない。うわぁおロマンチック！

…って、病んでいるのかな、おれ。

特別に自分がLGBTについて深く語れるわけではないのでおこがましいですが、二人の日常を通して、生きていく中で大切なことというのは、実にすごく単純で簡単なものだよな、と感じたわけでした。

いただきまつき栄二 第5回

ゴールデンウィークは、長いけど特に行きたいところが思いつかないから、映画にでも行ってみようかと思う。キングダムというのを見に行ってもいいけど、漫画とかが元の話の場合、自分が気に入らないのしか今までなかった。アベンジャーズというのも、あんなジャンルにしては、3時間というのはだらだらとして、長すぎるような気がするし、どうしようかなと思う。でも、人がいっぱいいるところにはあんまり行きたくはないから、他の映画もなにをやっているか、調べてみようと思っている。

母が不整脈で入院して、ペースメーカーを入れて帰ってきた。そんなこともあって、このまま家で暮らし続けるのは無理になってきた気がする。急ぐことができるようなことでもないけど、早く家から出ていかないといけないなと思う。ぶるーむに自立生活のことで相談したのもギリギリのタイミングだったんだろうかな。それよりもあとだったらもう手遅れだったかもしれない。

もうこれからは母が介護することはできないので、常勤の人に今は介助に入ってもらっているけど、ボランティアのようにしている時間が多いし、そのうちに体力的にも限界になるかもしれないので、心苦しいと思うところもあるし、ポスティングで介助者が早く見つかってくれないかなと、思っている。

それと、元号が変わると言っても、平成にも思いいれもないから、何とも思えない。

まつきえいじ
松木栄二

かつどう ほうこく
活動報告

へいせい ねん がつ へいせい ねん がつ
平成31年3月~平成31年5月

がつ
3月



さ が ながさきしえん かいぎ
佐賀長崎支援スカイプ会議

よろず

すいしんきょうかい かいぎ
推進協会スカイプ会議

かいじょ いいんかい かいぎ
JIL介助サービス委員会スカイプ会議

りんじそうかい
臨時総会

きゅうしゅうくみあいけんこうかんかい
JR九州組合意見交換会

がつ
4月



はなみ
花見

すいしんきょうかいけんしゅう
推進協会研修

さ が ながさきしえん かいぎ
佐賀長崎支援スカイプ会議

かいじょ いいんかい かいぎ
JIL介助サービス委員会スカイプ会議

きゅうしゅう かいぎ
JIL九州スカイプ会議

よろず

すいしんきょうかい かいぎ
推進協会スカイプ会議

すいしんきょうかい かいぎ
推進協会スカイプ会議

がつ
5月



きたきゅうしゅうししょうがいふくしぎょうせいこうしゅう
北九州市障害福祉行政交渉

さ が ながさきしえん かいぎ
佐賀長崎支援スカイプ会議

かいじょ いいんかい かいぎ
JIL介助サービス委員会スカイプ会議

きゅうしゅう かいぎ
JIL九州スカイプ会議

チャレンジセンターとも かいぎ かいぎ
チャレンジセンター友の会スカイプ会議

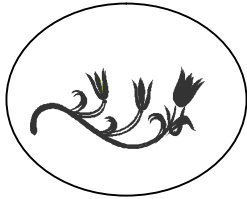
よろず



へん しゅう こう き
編集後記

今年は雨の日が少ないみたいです。次号を作る頃には雨にうんざりしてそんな気もしますが、水不足になるといろいろ大変なので、少し心配ですね。 【K II】

■ **ロゴについて** ■



この3つが繋がったチューリップには、3J = 「自己選択」「自己決定」「自己責任」の意味と、この北九州の地で自分らしい、いきいきとした花を咲き誇らせてほしい・・・という願いがこめられています。

■ **会員募集** ■

自立生活センターの最大の特徴は、運営や各種サービスを「障害者」自らが中心となって行っていることです。これは、「障害者」にとって何が必要かということが一番知っているのは「障害者」自身であると考えからです。

「自立生活センターぶるーむ」はこの考えのもと、2007年10月に産声をあげました。当団体の活動は、皆さまからのご寄付と会費により支えられています。

ご支援とご協力をお願い致します。

会員種別	年会費
正会員 当法人の目的に賛同し、法人の活動に責任を持って参加していただける個人の方。	3,000円
賛助会員 当法人の事業を資金面などで賛助していただける個人及び団体の方。	5,000円

【銀行振込】 銀行名：西日本シティ銀行 室町支店
 口座名義：特定非営利活動法人 自立生活センターぶるーむ 理事 田中雄平
 口座番号：1694039

編集人 連絡先 NPO法人 自立生活センターぶるーむ
 〒803-0818
 福岡県北九州市小倉北区豎町2-1-5 豎町ビル1F
 TEL 093-562-5431
 FAX 093-583-3257
 E-Mail cil-bloom@nifty.com
 URL <http://homepage3.nifty.com/cil-bloom/>
 定価 100円